

平成 27 年度決算について

平成 27 年度の決算につきまして、第 45 回組合会にて議決されましたので、下記の通りご報告致します。

記

(1) 健康保険

平成 27 年度の健康保険は、約 923 億円の収入に対し、約 903 億円の支出で、約 20 億円の黒字決算となりました。このうち、当初予算では想定していなかった高齢者医療円滑化等補助金収入が約 15 億円あることから、これを除く実質的な収支は約 5 億円の黒字となり、概ね収支均衡となりました。また、支出のうち高齢者医療制度の納付金等については、前期高齢者納付金約 182 億円、後期高齢者支援金約 181 億円など合計で約 385 億円に上っており、依然として高齢者医療制度への負担が財政を圧迫しています。また、段階的な全面総報酬割の導入等により、納付金等の負担額は今後も増加していく見込みであることから、収支の均衡を今後も維持できるかは不透明です。

(2) 介護保険

平成 27 年度の介護保険は、約 85 億円の収入に対し、約 71 億円の支出で、繰越金を除いた単年度収支は、約 3 億円の黒字となりました。保険料収入は、保険料率の引き上げにより保険料収入が増加したことなどから、対前年実績で約 1 億円増加しました。一方、支出は、介護報酬の減額改定により、納付金が前年度実績より約 3 億円減少しています。しかし、近い将来に介護保険料の制度改正が行われる可能性もあり、収支の見通しについては予断を許さない状況です。

以上